



動物園、記録的大雪に見舞われる

記録的大雪！

すごい雪が降りました。降る降る、と繰り返し天気予報で放送されていたのは知ってましたが、まさかこれほどの大雪になるとは。



《静寂の雪の動物園》

2月8日土曜日、朝起きると細かい雪が舞う白銀の世界に。今日は一日雪かあ、と暗澹とした気持ちで園へ向かい、朝礼で「本日休園！」を告げると、インフルエンザで5日間自宅療養していたままの書類等の整理を。午後からは雪も小降りになってきましたが天気図を見ると、まだ序の口。とりあえず明日の対応などを考えながら帰宅すると、再び雪が激しくなってきました。風も強まっています。昔行ったスキー場でもよく天候が悪化したことがありましたが、暗闇の外灯に浮かぶ横殴りの雪粒はまさに吹雪の光景。夜中には飼育員から電話があり、停電で警備会社から連絡が入ったとのこと。この極寒の状況で暖房が消えたら動物によっては致命的です。すぐ園へ向かってもらうようにしたのですが、大雪で自宅から車が出せないとのこと。別な飼育員に電話をし向かってもらうも、車なら10分程度のところを1時間近くかかって到着したとのこと。途中動けぬ車で大渋滞していたようです。結局もう一人の飼育員も自力で登園し、様子を見るため泊まることになりました。

一夜明け9日、日曜日。窓外に目をやると、ゲゲゲ、昨日とはまた違った朝の景色。白一面は変わらないのですが、白のヴォリューム感が半端じゃありません。玄関を出ると足がズッぽズッぽと埋まっていきます。新聞も配達されていません。あたりは白と静寂により支配されているかのよう。自宅前の道路も20cmぐらい雪が積もっています。



《自宅前》

悪戦苦闘しながら車を出し園に到着。いや、到着しませんでした。国道から少し上がったところが入園口なのですが、その少し上がるところがびっしり雪で埋まって上がれません。仕方なく路上の端の方に車を止めて登園。駐車場は雪原です。一回り園内を見ようとしたのですが、ズボズボ足が埋まって思うように歩けません。こんな雪、東京では45年ぶりだそうですが、少なくとも、私の記憶にはありません（大した記憶じゃないのですが）。



《サルの楽園方向》

園の入り口は20cmぐらいでしょうが、園内の深いところは50cmはゆうに積っています。動物たちはほとんどが獣舎の中なので安心ですが、それでも雪山と化したサル山や、雪の重みでネットがたるんだフラミンゴ舎などはすごいことに。頂上へ通じる坂道はどこが道路の境かわかりません。雪山の経験はありませんが、静寂の中をひとり頂上へ向かいながらふと「遭難」のひと文字が浮かんで消えました。気を取り直し、職員を集め、とにかく通常の動物の世話がすんだら必要なところから雪かきをすることにしました。まずは駐車場です。しかしこれが20cmともなると簡単にはいきません。もう足腰がパンパンになります。結局5～6台分だけしか確保できず、園内の除雪も含め業者さんにお願いすることにしました。



《雪のサル山》



《雪でたわんだフラミンゴ舎》

今回の雪は想定外と言えばそれまでですが、自然の猛威を今更ながら感じました。駐車場から園内の園路、かみね公園内の連絡道路など、最終的には11日（祝・火）に業者を入れ一気に除雪することとしましたが、お客さまを迎える仕事はまずはアクセスの確保です。道路・駐車場など受け入れ態勢が整ってない中で来園者をお迎えすることはできません。そうした点では、雨以上に大雪というものの怖さを改めて思い知ることができました。

今回、8日（土曜日）から11日（火曜日）まで思いがけず4日間も休園する事態となり、楽しみにしていたお客様もたくさんいらっしゃったことと思いますが、どうか事情をご推察のうえ今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



《雪の共同作業》

※どうぶつのに連載中・・・[「あっ、かみね動物園だ！Vol.9」](#)

2014年2月11日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)